

令和7年 網走市議会
文教民生委員会会議録
令和7年12月11日（木曜日）

○日時 令和7年12月11日 午前11時22分開会

○場所 議場

○議件

1. 議案第6号 令和7年度網走市一般会計補正
予算中、所管分

○出席委員（7名）

委 員 長	古 田 純 也
副 委 員 長	栗 田 政 男
委 員 員	金 兵 智 則
	里 見 哲 也
	永 本 浩 子
	平 賀 貴 幸
	古 都 宣 裕

○欠席委員（0名）

○議 長 松 浦 敏 司

○傍聴議員（7名）

石 垣 直 樹
井 戸 達 也
小田部 照
立 崎 聰 一
深 津 晴 江
村 椿 敏 章
山 田 庫司郎

○説明者

副 市 長	後 藤 利 博
廃棄物処理広域化推進室長	田 邊 雄 三
廃棄物処理広域化推進室次長	立 花 学
廃棄物処理広域化推進室参事	田 中 正 幸
廃棄物処理広域化推進室参事	松 井 直 之

○事務局職員

事 務 局 長	岩 尾 弘 敏
次 長	本 橋 洋 樹
総務議事係長	和 田 亮
総務議事係	山 口 謙

午前11時22分開会

○古田純也委員長 ただいまから、文教民生委員会を開催いたします。

本日の委員会では、付託されました議案1件について審査します。

それでは、議案第6号令和7年度網走市一般会計補正予算中、清掃費、広域廃棄物中間処理施設整備調査事業について、債務負担行為補正も関連しておりますので、併せて説明を求めます。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 議案資料10ページ、資料7号を御覧願います。令和7年度一般会計清掃費補正予算、広域廃棄物中間処理施設整備調査事業について御説明いたします。

1の補正の理由及び内容ですが、斜網地区1市5町による広域廃棄物中間処理施設の設置に向け、次の経費を追加補正するものです。生活環境影響調査は、年間を通して行うものですが、環境大気質、暖房期、冬季分について、年度内に行おうとするもので、内容としては、近傍の大気測定局の測定結果を収集、整理し、不足項目の補完及び大気測定局データとの整合性の検証、現地調査を実施するもので、委託料として507万1,000円を追加補正するものでございます。

2の補正額の歳出予算、歳入予算は記載のとおりで、財源は一般財源のほか、国庫補助金と5町からの負担金となっており、1市5町の負担割合は均等割となっております。生活環境影響調査分の負担金として、507万1,000円の6分の5、422万5,000円が5町からの負担金となります。また、既に補正予算執行済みのごみ組成分析調査651万2,000円の循環交付金の追加内示として、217万円あったことから、国庫補助金として追加補正するとともに、その額の6分の5の金額を5町からの負担金より差引きし、結果、241万7,000円となります。

次に、債務負担行為の設定について御説明します。議案資料1ページ、資料7号を御覧願います。予定地での計画策定調査業務について、同様に実施するもので、令和7年度中の業務完了が見込めないことから、債務負担行為を設定するものであります。道路橋梁基本計画業務委託は、建設予定地が下水終末処理場や雪捨場など、他の利用者との兼ね合いを検討するため、隣接する国道から焼却処理施設

の敷地をつなぐ道路の配置基本計画を行う計画策定業務として1,150万円。中間処理施設整備支出調査業務委託は、施設設置予定地の直下の支持地盤の確認を行う調査業務として1,900万円となり、これらの業務については、今年度は、前払い金、部分払いなどの支払いが発生しない見込みであるため、債務負担の上限額の設定のみを行い、令和8年度当初予算で歳出予算要求を行うものです。

説明は以上となります。

○古田純也委員長 それでは、質疑に入ります。質疑ございませんか。

○古都宣裕委員 まず10ページから伺いたいのですけれども、こちらは内容わかりました。こちらに書いてある負担金というのは、ほかの町の負担金のことかなと思うのですけれども、これ勘案して網走市の負担、均等割で環境影響調査で507万1,000円かかる中で、網走市が大分の払いみたいな形の中で1市5町で割っていると思うのですけれども、網走市の実質負担というのはどれぐらいになるのですか。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 国庫補助金を差引きまして、実際、網走市の負担となるのが、一般財源の48万4,000円となります。

○古都宣裕委員 わかりました。

もう一つ、資料1ページで先ほどあった債務負担行為について伺いたいのですけれども、道路橋梁基本計画策定委託業務とあるのですけれども、まだ中間処理施設がどういう規模でどこに、面積の中のというのが決まってない中で、橋梁というのが難しいのではないかと思うのですけれども、どういう形で何に対して委託するんですかね。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 道路橋梁基本計画業務についてですが、この建設予定地について、他の利用者と隣接している下水終末処理場ですとか雪捨場と隣接しているため、国道からの道路配置ですか、ルートを早期に検討する必要があるというために計画の策定を行うものでございます。

○古都宣裕委員 計画自体早期に策定したいというのはわかるのですけれども、その規模だとか、この面積の中のどこだっていうのがわかっていない中で、それをどういうふうに策定していくのかわからない中、委託するということなんですか。

○田邊雄三廃棄物処理広域化推進室長 現在、建設を予定しているところにつきましては、敷地面積1万4,000平米程度で場所はもう決まっております。その中でやるということで一連の敷地の中には、終

末処理場と雪捨場がある。終末処理場に行く車両も大体台数がわかつておりますので、ごみのほうも大体各町からこのぐらいの台数が行くであろうということ。あと美幌町は直接持込みというものがありますので、そこも美幌町が推計して出している。雪捨場についても、大体の台数がわかつておりますので、そういうところで3つの用途で車が入ってくるということになりますので、そういうデータを基に、どういう道路設計にするとか、そういうところを考えるということになります。

○古都宣裕委員 処理場に直接入る前段階のところの道路に対する設計という理解でよろしいですか。

○立花学廃棄物処理広域化推進室次長 中間処理施設の建設しようとしている位置というのが、国道39号線から大体300メートル奥に位置する場所になります。実際に中間処理施設の中で、例えばパッカー車が入ってくるであるとか、そういう場内の整備の検討ではなくて、国道から中間処理施設までの接続道路について、どういうルートで300メートルの動線を決めていくかということを調査するものでございます。

○古都宣裕委員 今使っているような道路がいろいろな想定するともたないからとかそういうのではなくて、新たに300メートルの部分に対してどこからというところを考えるというところだと、今の答弁だと思うのですけれども、その300メートルの取付けも炉がどういう形にするかも決まってない、極端な話、炉の向きもどうするかというのも決まっていなかつたら、どこに対して取り付けていくかとか、出入口の話なのだったらそういうところ、なかなか物が決まっていない中で策定というのは、難しいのではないかと思うのですけれども。

○立花学廃棄物処理広域化推進室次長 建設する状況としては、中間処理施設の建設の背後地というのが、美幌川が流れております。隣接するところには、美幌の下水道の終末処理場、雪捨場という形で、環境的には、国道からの動線というのはある程度、入ってくる路線というのは想定をしています。ただ、洪水ハザードの浸水対策であるとか、どれぐらいの高さに設定して国道からアクセスすべきであるとか、様々検討が必要だということで、このタイミングで設計を進めるものでございます。

○古都宣裕委員 この橋梁、川をまたぐ橋梁なのか、たしか農業用水とか通っているところの橋梁で、あそこがパッカー車とかがたくさん通ることに

なったときに補強が必要だとかっていうところで考えられるものなのかなにもよると思うのですけれども、基本的に取付道路の関係からすると美幌川をまたぐ橋梁というのは、網走やほかの町から行く車は使わないと思うんですよね。そうした部分でいくと、さっき言った農業用水とかをまたぐような小さな橋梁に対しての調査という理解でいいのでしょうか。

○立花学廃棄物処理広域化推進室次長 今、委員お話しのとおり国道39号線と、今回、造成しようとしている土地の間には用水路があります。非常に美幌の終末処理場に入る橋梁なのですけれども、狭隘な幅員だということもありまして、さらには、雪捨場の活用も並行しつつ、そこで活用していかなければならぬということもありまして、橋梁については、国道と挟まれている用水路のところに架けるものだということで、橋梁というお話をしておりますけれども、用水路の規模からするとボックスカルバートを設置していくようなイメージで考えております。

○古田純也委員長 他に。

○金兵智則委員 債務負担行為が2つと、補正予算が1つという形、全て補正予算なのですけれども、これ3つ業務があるのですが、スケジュール的に言うとどんな感じ、いつ始まっていつ終わるというのが、どうなってますでしょうか。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 事業のスケジュールについては、まず生活環境影響調査、事業こちらが冬季間のみの調査になりますので、1月から3月を予定しております。それから、道路橋梁基本計画策定業務につきましては、令和8年1月から令和8年7月まで。次に、中間処理施設整備地質調査業務につきましては、令和8年1月から令和8年5月までの期間を予定しているところです。

○金兵智則委員 わかりました。基本計画と地質調査のほうは、お金の支払いが来年度になるので債務負担行為だということで理解をしたいというふうに思うのですけれども、それぞれ業務委託になっていますけれども、委託先は1本ではないですね。それぞれ違う業者さんという理解で間違いなかったでしょうか。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 それぞれ入札になりますけれども、同じ業者っていうことは考えておりません。

○金兵智則委員 わかりました。

生活環境影響調査なのですけれども、御説明の中では1年間やるものだけれども、取りあえず冬季間分の500万の委託料を補正予算で上げさせてくださいという説明だったと思うんですけれども、多分、1年間ってことは、1月から始めて来年の12月までの1年間なんですね。来年度の4月以降の分は、多分、来年度の予算になるからこういう組み方なのですけれども、それは継続して同じ業者さんがやるという形になるのですよね。でも、お金が別だから3か月たって、4月からの分については、またそこで入札とかが行われるというイメージなんですかね。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 今回、令和7年度分につきましては、一旦3月で業務が終了します。今回、冬場の調査はしますけれども、大気質の調査であったり、交通量調査、騒音振動調査というのも来年度行うのですけれども、それは来年度当初に改めて入札で事業者を決定することになります。

○金兵智則委員 1年間やる調査が、別に3か月と9か月で業者さんが入れ替わっても問題はないものなのですか。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 最終的なデータの取りまとめというのは、違う業者であっても可能ですので、問題はないというふうに考えています。

○金兵智則委員 そしたらデータの取りまとめをするのは、こちら側でやると言えばいいのか、業者さんではデータを取るだけでデータの提供してもらうのですから、違う業者であってもいいってことですよね。ということは、生活環境影響調査というのは、1年間で大体2,000万ぐらいかかるというふうに思っていていいってことですよね。1,500万については、3か月で500万ですから、4倍にすれば2,000万ですから、この調査については、大体年間2,000万ぐらいかかる調査なんだよということで間違いなかったですか。

○古田純也委員長 休憩します。

午前11時39分休憩

午前11時44分再開

○古田純也委員長 再開いたします。

金兵委員の質疑に対する答弁から。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 この生活環境影響調査の調査項目なのですが、今回、冬場の大気質調査を行うのですが、来年度、夏場の大気質

調査のほかに、騒音、振動、交通量調査、悪臭調査といったものを行う予定となっておりまして、これにつきましては、また改めて新年度予算ということになりますが、発注は年度が変わると、こちらについては、一部事務組合での発注となります。

○金兵智則委員 なるほどですね。だから、単純に4倍というわけではなくて、よりかかるかもしれないですし、その先のことは一部事務組合で決めていくという流れになるんだということで理解をさせていただきます。建設予定地の決定が当初のスケジュールより大分前倒しになって、なので調査関係の補正予算も出ていたということなので、建設スケジュールが少しでも前倒しになればいいなと私自身は思っているのですけれども、その見込みが出てきたという理解でいいのでしょうか。

○田中正幸廃棄物処理広域化推進室参事 今回、現地での調査について、できるだけ早い着手をすることによって、全体の調査期間については短縮できるものというふうに考えております。

○金兵智則委員 調査期間だけではなくて、建設のスケジュール全てが少しずつ前倒しになっていく可能性が出てきたということで理解をしたいというふうに思います。

○古田純也委員長 他に。

[「なし」と呼ぶ者あり]

お諮りします。

議案第6号令和7年度網走市一般会計補正予算中、所管分については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

そのように決定いたしました。

それでは、これで文教民生委員会を終了いたします。

午前11時47分閉会